

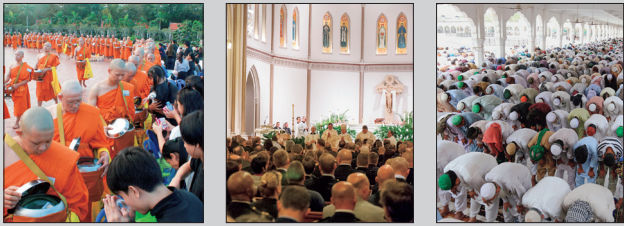
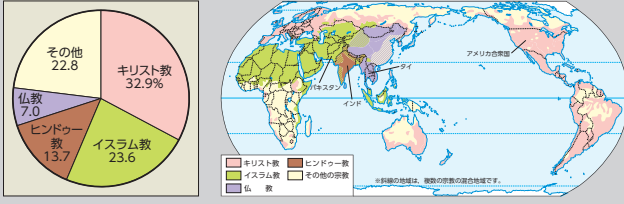
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.42-43 人々の生活と宗教の関わり
2. 目標 (1) 世界各地の宗教の分布と特色について、仏教、キリスト教、イスラム教を中心に理解できる。
(2) 世界各地の宗教が、人々の生活にどのような影響を与えているか考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・世界の主な宗教の分布と、仏教、キリスト教、イスラム教の特色を理解している。
思考・判断・表現	・世界各地の宗教とその地域の生活との関連を多面的・多角的に考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 世界の宗教に関する写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 世界ではどのような宗教が信仰されているか予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.42 1 p.42 2 p.42 3 写真に関して知っていることを挙げてみよう。 世界各地ではどのような宗教が信仰されているのだろうか。	○ 世界各地の宗教について知っていることを発表させながら、本時への導入を図る。 ○ 世界ではどのような宗教が信仰されているか予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：世界の宗教はどのように分布し、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。			
展開	3. 世界では、さまざまな宗教が信仰されていることを理解する。	 p.42 4 p.43 5 世界で最も多くの人々に信仰されている宗教は何だろうか。 その他の宗教に含まれる宗教を挙げてみよう。	○ 資料から世界の宗教別人口の割合の特色を読み取らせる。 ◆ 世界では、キリスト教とイスラム教、ヒンドゥー教を信仰する人が多いことに気付かせる。 ◆ 資料に示された宗教のほか、ユダヤ教や神道などさまざまな宗教が信仰されていることを理解させる。

4. 仏教、キリスト教、イスラム教の特色を理解する。

	信仰されている地域	宗教の特色	
仏教	(例) 東アジア インドシナ半島 など	(例) タイでは、仏教徒の男性は一生に一度出家して修行し、町の人々は、毎朝修行中の僧侶に炊きたての米などをさげる。	
キリスト教	(例) ヨーロッパ 南北アメリカ オーストラリア など	(例) 日曜日には教会に行き、祈りをささげる。キリストの誕生を祝うクリスマスと復活を祝うイースターはキリスト教徒以外にも広まっている。	
イスラム教	(例) 北アフリカ 西アジア 中央アジア インドネシア など	(例) 1日に5回、メッカの方向に祈りをささげる。休日である金曜日にはモスクに人々が集まり一斉に祈りをささげ、1か月間、日中飲食をしない断食を行う。	

仏教、キリスト教、イスラム教が分布する地域の特色とそれぞれの宗教の特色をまとめてみよう。



p.43 6

イスラム教では、どのような生活のきまりがあるのだろうか。

5. ヒンドゥー教の特色を理解する。



p.43 7



p.43 8

ヒンドゥー教の信仰の特色を説明しよう。

6. 本時のまとめをする。

イスラム教徒、ヒンドゥー教徒の人々の生活習慣の例を、それぞれ説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

8. 「章の問い」の振り返り活動を行う。

世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。

この章で学んだことから、次の章の学習に生かせることを考えてみよう。

○ 学習プリントを活用し、仏教、キリスト教、イスラム教が信仰されている地域とそれぞれの宗教の特色をまとめさせる。

◆ 仏教は東アジアからインドシナ半島、キリスト教はヨーロッパと南北アメリカ、オセアニア、イスラム教は北アフリカから西アジア、中央アジアなどで信仰されていることを理解させる。

◆ 仏教、キリスト教、イスラム教のきまりや礼拝の方法、休日などの特色を理解させる。

○ 資料から、イスラム教の生活のきまり事を調べさせる。

○ ヒンドゥー教徒の生活のきまり事を調べさせる。

◆ ヒンドゥー教を信仰する人々は、仏教を信仰する人々より多いが、インドとその周辺国に集中していることを理解させる。

◆ イスラム教徒は祈りの方法や衣服・食事などのきまり事があることや、ヒンドゥー教徒はカーストとよばれる身分制度が生活習慣に根付いていることを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。

○ 「章の振り返り」へ記入させ、次章の学習へつながりを持たせる。